

## 資料紹介 『海南神社の面神楽』（上下巻）

神奈川県三浦市・海南神社で、私たちは神楽面、そして「いなりっこ」で用いられる神楽面を撮影させていただきました。撮影者は、実行委員会シニアスタッフ弓田吉男さん（埼玉県上尾市）と戸津井直次郎さん（埼玉県和光市）。神楽面の法量、材質など神楽面調書の作成にあたっては、神楽面師（神楽面の制作者、面打ちと呼びます。）である小島正廣さん（東京都北区）。そして学生スタッフ（成城大学馬場綾音）は小島さんの脇に座り、調書への記入を担当しました。

撮影には面神楽を演じている神楽師が立会ってください、面箱から神楽面を取り出し、撮影のため、面紐を外しなどのご協力をいただきました。撮影が一段落した時、三浦市教育委員会に勤務されている坐古善光さんから、小冊子を二冊いただきました。この資料は、撮影前に入手していなかったもので、その内容把握は撮影後となったが、私たちの仕事に役立つ内容ばかり。本当にありがたい資料だと思いました。

上巻にあっては、「第 3 章面神楽の曲目と面神楽」（12 ページ～31 ページ）が圧巻。今後のまとめにあたっては、強い味方になる記述内容となっています。また。下巻の「第 2 章面神楽の曲目と内容」（13 ページ～42 ページ）も、面神楽の曲目について、詳細な記述がなされており、そのまま「面神楽鑑賞ハンドブック」になっています。私たちにとっては、とにかくありがたい資料となっている。

写真が数多く掲載され、資料紹介もしっかり揃っており、この二冊があれば三浦市の面神楽見学テキストとして、あるいは面神楽研究のための文献として、「完璧」だと思えました。読後、なんだか三浦市の面神楽について急に詳しくなったような錯覚を覚えます。得難い好資料となっています。

資料紹介・『三浦市民俗シリーズ〔Ⅶ〕海南神社の面神楽 上巻』

発行年月 平成3年3月 発行 三浦市教育委員会

『三浦市民俗シリーズ〔Ⅷ〕海南神社の面神楽 下巻』

発行年月 平成4年3月 発行 三浦市教育委員会